

FRONTEO、子会社の吸収合併に伴い、 HRソリューションを推進する新部署を設置

採用、人事評価、離職防止、メンタルヘルスなど AI による人事関連業務を展開

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、旧UBIC）は、3月23日の発表どおり、本日5月8日付にて、完全子会社である株式会社FRONTEOコミュニケーションズ（以下、FCC）の吸収合併を実施しました。また、本件に合わせて、FCCにおいて展開していた人事関連業務を、FRONTEOのビジネスインテリジェンス部門に統合し、今後さらに注力する領域として、HRTech（人事+テクノロジー）分野での事業展開を行う新部署を設置し、独自開発の人工知能エンジンKIBITを活用したHRソリューションの提供を推進していきます。

KIBITを用いたHRソリューションの例

- ・新卒採用時のエントリーシートスクリーニング
- ・中途採用時の自社適正マッチング等の採用領域
- ・従業員の退職予兆検知
- ・メンタルヘルスマネジメント
- ・パワハラ／セクハラ対策
- ・人事関連のFAQ（よくある質問）対応 など

今回の吸収合併の目的は、FRONTEOグループの経営の効率化及び販売・管理体制の一元化により、AIソリューション事業の拡大をさらに加速するためです。AIソリューション事業を展開するビジネスインテリジェンス部門において、従来の金融向けや特許調査など実績をあげてきた分野と一体運営することにより、業務の集約及び人材配置の最適化で生産性を高め、競争力をより強固なものとしていきます。

FRONTEOは、AIソリューションの提供において、コンサルティングを含めた提案を強みとしています。今後さらに専門性の高い顧客ニーズに対応し、的確なソリューションをスピーディに提供するための「業界×ソリューション」を軸とした体制を構築し、事業を推進していきます。

■KIBITについて

「KIBIT」は人工知能関連技術のLandscapingと行動情報科学を組み合わせ、FRONTEOが独自開発した日本発の人工知能エンジンです。人間の心の「機微」（KIBI）と情報量の単位である「ビット」（BIT）を組み合わせ、「人間の機微を学習できる人工知能」を意味しています。テキストから文章の意味を読み取り、人の暗黙知や感覚を学ぶことで、人に代わって、判断や情報の選び方を再現することができます。

【FRONTEO について】 URL: <http://www.fronteo.com/>

FRONTEO は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ（電子証拠開示）や、デジタルフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年 8 月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View（リット・アイ・ビュー）」、日・中・韓・英の複数言語に対応した「Predictive Coding（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。このリーガル事業で培われ、発展した「KIBIT」を始めとする独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現します。ヘルスケアやビジネスインテリジェンス、デジタルマーケティングなどの領域に展開し、FinTech や RegTech に加え、「働き方改革」でも実績をあげています。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ、2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 2,481,621 千円（2017 年 3 月 31 日現在）。2016 年 7 月 1 日付で株式会社 UBIC より現在の社名に変更しております。

＜HR ソリューションに関するお問合せ先＞

ビジネスソリューション本部 ソリューション 3 部 佐藤

TEL 03-5463-6375 FAX 03-5463-7578 Email: bdg@fronteo.com

＜報道関係者のお問合せ先＞

株式会社 FRONTEO 広報担当 河本、池内

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345 Email: pr_contact@fronteo.com